

おおづ

広報

9

SEPTEMBER 2023

Public relations
OZU TOWN



▲阿蘇の外輪山を背景に引水付近で撮影した桃根さんの写真。桃根さんが見つけた町内で有数の撮影スポット。肥後大津駅北口にも桃根さんの写真が展示されています。



▲桃根さんが情報発信するXのアカウント ゆうすげ1号@南阿蘇 (@MAYusuge1)

clozu-up Ozu-jin

クローズアップ 大津人



熊本地震からの復興 南阿蘇鉄道が大津町に！

広報 おおづ 2023 9

発行・編集 大津町 総合政策課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL:096(293)3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物性インクを使用しています。

UD FONT
見やすくて読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



鉄道は地域に 必要な存在

平成28年3月からX(旧ツイッター)の「非公式」アカウントを開設し、南阿蘇鉄道の復旧の歩みや楽しみ方を発信する桃根さん。鉄道の魅力を伝え続ける思いに触れた。

東京の鉄道関連の出版社で九州の鉄道を中心に取材する記者兼カメラマンを約10年以上続けた桃根さん。並行して南阿蘇鉄道で多客期臨時職員として熊本地震前まで働く。熊本地震を機に大津に移り住み、現在は町内の車体関連工場で働いている。休日のひとつを南阿蘇鉄道に注ぐほどアツい鉄道ファン。

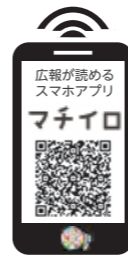
鉄道が好きになったのは幼稚園の頃。「地元が牛深なので、唯一鉄道に乗れるのは父が仕事で熊本市内に行くとき。いろんな色や模様の車体、1本の線路でどこまでも行けることにわくわくが止まりませんでした」と家族との思い出に目を細める桃根さん。

南阿蘇鉄道が開業して30周年、前身の国鉄高森線が開業して88周年の節目の年にSNSを始め、運行状況やおすすめの撮影場所、食べ物などの沿線情報を発信している。「車での移動が増え、鉄道の利用客は昔に比べて減っているように感じます。車窓からしか見れない風景や一つの線路でつながる地域の人たちとの出会いがあります。それぞれの鉄道の思い出が残り続けてほしいなと願います。」

熊本地震後も自身のSNSで鉄道の被害状況を発信したり、地震前に撮影した南阿蘇鉄道の写真を販売し、売り上げの一部を南阿蘇鉄道に寄付したりと復興支援には精力的に動いていた。「鉄道の復旧を望む声は多くあったので、1人でも多くの人に思いを広げることが私の役目だと思い発信を続けました。7年3カ月ぶりの全線運行は桃根さんを含む多くの人の記憶に残り続けるだろう。」

こゝの声

7月15日はうれしいニュースが2つありました。一つは肥後大津駅への南阿蘇鉄道乗り入れ。もう一つはHonda熊本が初戦突破。私は都市対抗の撮影で東京に行っていたので乗り入れは生で見れなかったのですが、空港から東京ドームに向かう途中、電車内で流れるニュースに南阿蘇鉄道の全線運行のニュースが流れてきました。東京の地で熊本のお知らせが流れることがうれしかったのを思い出します▼仕事が落ち着いたら南阿蘇鉄道に乗って車窓から大津町の風景を見るのが楽しみです。おすすめの景色があったら教えてください(´▽`)



広報が読める
スマホアプリ
マチイロ